

# まちづくり検討会議 前期(令和元年5月～令和3年4月)の提言に対する市の対応

委員会	テーマ	提言に対する市の対応状況	担当課
総務常任委員会	防災対策と公共施設長寿命化計画を活かしたまちづくり	<p>(1)令和2年6月「避難所開設・運営における新型コロナウイルス対応マニュアルを策定。避難所での3密を回避するため風水害では開設していなかった小中学校を新たに開設することとした。車両避難は、道路冠水・河川氾濫等のやむを得ず車両避難した場合の駐車場所を各避難所の施設管理者と調整を図った。</p> <p>(2)近隣自治体の導入事例を調査研究しドローン所有団体と災害時における支援活動に関する協定を締結した。</p>	企画部 危機管理課
産業建設常任委員会	伊勢原の持つ潜在的な能力を活かしたまちづくり	<p>(1)北口周辺地区再開発整備事業の開始により北口トイレについても計画に反映される。</p> <p>(2)通念を通して、市公式Twitter、Facebook、YouTubeなどのSNSを活用した発信、シティプロモーションサポーターや、産業能率大学、向上高校との連携によるシティプロモーション動画を発信している。</p> <p>(3)日本遺産事業で「宿坊体験型教育旅行事業」に大山能教室、座禅及び写経体験、野菜収穫体験とバーベキュー、まが玉づくり体験などを用意し、文化型・農業型体験観光を実施している。</p> <p>(4)市道1号線に係る十二神橋は、令和4年度に補修工事を実施予定。県立塔の山緑地公園周辺の道路改修は、令和5年度完成予定で進めている。</p>	経済環境部 商工観光課
教育福祉常任委員会	市民の健康寿命延伸に向けて	<p>(1)東海大学・神奈川県・平塚市・秦野市・大磯町・二宮町、未病関連企業などが、東海大学の医学部、健康学部、体育学部などが中心となり、地域の健康課題解決推進協議会を立ち上げ、健康施策の取組みを議論する場が設けられている。</p> <p>(2)健康アプリを利用した事業は、コロナ禍もあり民間企業の健康アプリを活用した事業を令和3年度に開始する。</p> <p>(3)各地域で歩いて行ける場を確保することは難しいことから、自宅や自宅周辺で行える身体活動などをSNSを活用し発信するなど対応をしていく。</p>	保健福祉部 健康づくり課